

平成25年度期末決算について経営懇談会開催

過去最高益決算の利益配分を！

すべてはリニア建設！職場へしわ寄せ実感なし！

連結単体とも増収・増益の決算

営業収益 1兆6,525億円（1兆2,772億円）

営業利益 4,946億円（4,608億円）

経常利益 4,042億円（3,718億円）

当期純利益 2,566億円（2,403億円）

本部は4月28日、平成25年度期末決算の経営懇談会を開催しました。会社は、「運輸収入は、ビジネス、観光ともに引き続き順調に推移した。単体、連結ともに、増収・増益の決算となり、営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益は過去を上回る実績となった。次期の業績予想は、運輸収入見込みを単体で1兆2,148億円の平成25年度と同額とする」と説明しました。

しかし、好調な業績と裏腹に職場では休日出勤、年休の抑制、QC支援金の削減、提案の報奨金の削減、節電等々の経費削減が社員へのしわ寄せとなって現われています。

本部は、過去最高益を上げたのは社員が日々の安全・安定輸送のために努力した成果であり、過去最高益の利益配分を行うこと。東海道新幹線開業50周年を迎えるにあたり社員に応える施策の実施をすること。また、大規模改修工事の費用計画、リニア中央新幹線建設の工事計画の説明、名古屋～大阪間の国が負担すると報道されている自民党特別委員会での建設決議について会社の見解を求めました。さらに、環境影響評価準備書は、沿線7都県から環境破壊と残土問題に厳しい意見があり、計画を強引・傲慢に進めることはあってはならない。東京～大阪間9兆円を超える莫大な投資は会社経営危機を招くため、建設計画の中止を迫りました。

リニア建設強引・傲慢に進めるな！
莫大な投資は経営危機招く！建設中止を！